

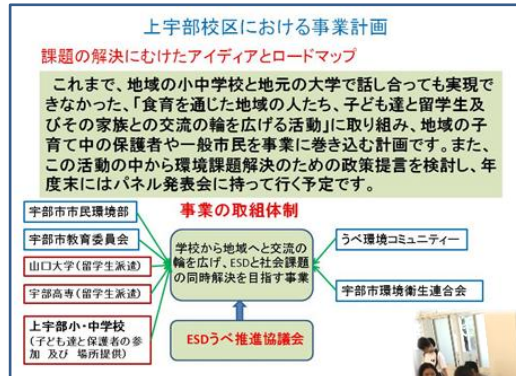


## 上宇部地区における国際交流と食育を組み合わせたイベントの推進について

平成28年度から29年度末まで継続した環境省の協働取組加速化事業は本年3月で終了しました。この事業で取り組んだ、宇部市における環境学習の推進は、本年4月に設立されたESDうべ推進協議会が引き継いで、色々な方面で環境学習の展開が図られています。今回は上宇部地区における国際交流と食育を組み合わせたイベントの企画と実施について述べさせていただきます。

ESDうべ推進協議会は、協議会の趣旨に賛同した宇部市内の環境関連の産官学民の17団体が参画して設立されましたが、財政基盤が確立されていません。そのため、協議会が関連する各事業は関係する方々の手弁当で開始している状況です。そのような中で、「上宇部校区の学校・地域住民からの宇部市ごみ減量解決策の提言とりまとめ事業」を5月に募集のあった「宇部市協働のまちづくり提案サポート事業」に応募したところ、助成を受けることが決定しました。この事業の概要を右図に示します。

この事業では、食育を通じた地域の人たち、子ども達、留学生とその家族との交流の輪を広げる中で、台所ごみの減量に有効な方策を話し合い、ごみ減量の実現に向けた試みを各家庭に普及させていくことを目指します。食育イベントは上宇部校区の方々を上宇部中学校のご協力のもと、7月21日(土)に第1回を開催しました。参加者は留学生とその家族が18名、上宇部中学校の生徒が12名、その他教員と一般の方々の参加者13名、合計43名でにぎやかにワークショップを開催しました。また、第2回と第3回は本年の11月から年末頃に実施する予定です。



一方、宇部市廃棄物対策課が呼びかけた「ごみ減量アイデアコンテスト」にもESDうべ推進協議会として「食育を通じて、台所ごみの脱水による水分減量を32g/一日/一人を実現する」アイデアを提案し、優秀賞に選定されました。このアイデアを、上記の上宇部地区における国際交流と食育を組み合わせたイベントにも適用して、生ごみの水分減量の取り組みを普及させる予定です。

環境学習、環境教育は広い意味でESD(持続可能な開発のための教育)と呼ばれますが、昨今では社会課題の解決と組み合わせ、参加者が環境意識を高めるだけでなく、自分たちが社会の課題を解決するために積極的に関わっているという自覚を持つことが重要になっています。

(ESDうべ推進協議会事務局長 薄井洋基)



調理したカレーを談笑しながら食べる留学生と中学生 於:上宇部中学校 (H30.7.21)

## 学習館開催企画スケジュール

どなたでもご参加頂く事が出来ます!



このマークの企画は、はつらつポイント(20才以上)、エコハ券(20才未満)進呈の対象となります。

●環境サロン(申し込み不要) 資料代200円/高校生以下無料

●出張おそうじ隊(申し込みをお願いします) 無料

第2回「こどもから家庭の省エネを広げるエコレンジャープロジェクト」/殿河内誠氏(宇部地球温暖化対策ネットワーク)  
とき:8月1日(水)18:00~  
ところ:まちなか環境学習館

今年度も宇部自然保護協会に協力する形で4回の活動を予定しています。詳しくは下記へご連絡下さい。  
第2回 8月26日(日) 小野湖小入江  
第3回 9月16日(日) 床波黒崎海岸

●ESD研修会(申し込み不要)

第1回「ESDとは何か、どう取り組むか」  
薄井洋基氏、津島榮氏、浮田正夫氏(うべ環境コミュニティ)  
とき:8月8日(水)18:00~ ところ:ヒストリア宇部交流ホール  
資料代等500円/高校生以下無料

お問い合わせ/まちなか環境学習館  
電話 0836-39-8110

第2回「地域による学校支援に期待すること」  
野口政吾氏(宇部市教育長)  
とき:9月1日(土)15:00~ ところ:宇部市立図書館講座室  
資料代200円/高校生以下無料

## まちなかおそうじ隊

学習館では、まちなか環境学習館周辺や銀天街アーケード、塩田川、中川等を掃除しています。メンバーはその日集まってくださった方々。楽しく「まち」をきれいにしませんか?おそうじ後はお茶会でホッとひと息!

8月26日(日)

15:00~  
学習館前集合  
道具不要



宇部市環境学習ポータルサイト  
「うべくる」

うべくる

検索

<http://www.ubekuru.com>

(有)バブルタンク

弊社は漁獲した魚を生きたまま市場へ輸送するために、漁船の生け簀底に取り付けるスカッパー(排水孔)の製造販売(国内シェア75%)を行っています。わが国では古くから生魚を食する食文化があり、漁獲した魚の鮮度保持のために新鮮な海水を適量供給しながら、生きたまま市場へ持ち帰ります。



近年、気液交換に主眼を置いた多様な環境技術にも取り組んでいますが、ここでは3例ばかり紹介します。

1) 韓国ではAWA曝気装置、バイオガスプラントの生物脱硫槽や、LG電子の高濃度アンモニア廃液処理槽内にも使用されています。



2) 国内ではF.BT-50飽和水生成器を用い国立大阪医療センター内で、井水にオゾンガスを高効率に溶解後、紫外線照射し、ヒドロキシルラジカルを大量に発生させて水処理することで、基準に適合した飲料水毎分2100Lを製造しています。



3) また、最近では高知県において、カツオ漁に必要な撒き餌用のカタクチイワシを生かす水槽内に、タンパク質を除去し同時に酸素成分も供給できるプロテイン・スキマーを設置し、漁獲高向上に貢献しています。



有限会社バブルタンク  
代表取締役 池田好明

うべ環境コミュニティー会員



コラム

『うべ環境コミュニティー(UKC)の活動と私の役割』



この度、UKC活動に賛同し仲間となりました新米理事の加藤です。この春、大学を定年退職するにあたり私の残り少ない人生、今までのキャリアに拘らず、何らかのボランティア活動で社会貢献できればと考えていましたところ、浮田理事長、薄井理事からUKC活動への参画を熱心に打診され、(とりあえず呼吸は置きましたが)お受けすることにしました。私の専門は、機械工学で、その中でも主に熱流体エネルギーを取り扱う学問領域です。ご存知のように熱(エネルギー)と環境とはいかなる場合も必ず密接な関わりがあり、その絡みを解明するのが命題でした。そのため在職中は、エネルギー効率の向上を追い求め、省エネルギーを図り、その傍ら

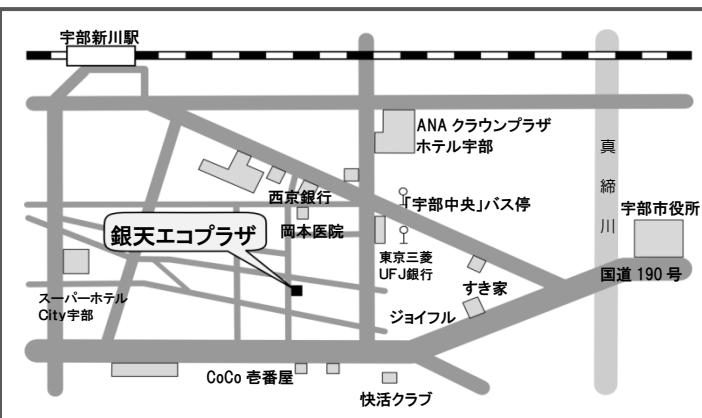
環境問題(ヒートアイランド問題、CO2問題)などに少なからず多くの時間と関心を割きました。

UKC活動へ参画するに当たり私の役割を少々考えました。そして当初は、一般会員でいて、“できることから一つ一つ”と、のんびりと考えていましたが、ESDうべ協議会に関わる体制整備と活動が走り出しており、理事という立場でその活動を担ってほしい旨要請がありました。未だ右も左もわからない、ましてやUKC活動も十分熟知していない理事ですが、ESDに関しましても走りながら一つ一つ対応できれば御の字と少々“甘い”考え(自覚している)でいます。

生来、性格的に追い込まれてから動くタイプですので、叱咤激励、いやいやご指導ご鞭撻いただければ、とりあえず大丈夫でしょう。よろしくお願いたします。



加藤 泰生(山口大学名誉教授)



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線:「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス:「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)

◇H30.6.1よりメールアドレスが下記の通り変更になりました◇

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekuru@gmail.com

開館時間 9時~21時 HPアドレス; <http://ubekuru.com/>

休館日 毎週火曜日、年末年始(12月29日~1月3日)